



すぱいす

第115号

2025年 8月 7日

中央区北4条西12丁目

ほくろうビル2階

札幌地区連合女性委員会

発行責任者 中野渡 文子

北海道産ワインの魅力を再認識 道産ワインテイasting講座で交流

札幌地区連合女性委員会は、8月2日、2025年夏レクとして、北海道大学ワイン教育研究センターで「道産ワインテイasting講座」を開きました。

NPO法人「ワインクラスター北海道」代表理事でシニアソムリエの阿部眞久さんを講師に迎え、各産別から組合員30人が参加。

第一部では、今年4月現在、73にも増えた北海道のワイナリーや栽培種類も増えたブドウ品種の説明などがされました。

講師の解説を聴きながら白、オレンジ、赤と順番にテイastingを始めると、会場内のあちこちから「美味しい！」という感動の声が飛び交いました。

第二部では、オードブルとのマリアージュを楽しみつつ、各種道産ワインを飲み比べ。グループでお気に入りワイン投票をしあいながら、交流を楽しみました。スペシャルな道産ブドウジュースも3種用意し、こちらも好評でした。

参加者からは、「道産ワインの魅力を知れた」「北海道のワインがこんなに美味しいとは思わなかった」「ワイナリーに関心を持った」などの感想をもらいました。



札幌地区連合女性委員会の解散

札幌地区連合女性委員会は、これまで長きにわたり各産別・単組から役員を派遣いただき、女性労働者の労働条件向上や、交流を深める取り組みを展開してきました。しかし各組織の取り巻く環境の変化や役員のみなり手不足など、四囲の状況を鑑み、12月の総会をもって解散することとなりました。最後までどうぞよろしくお願いいたします。